



名残りの秋

暦の上ではもうすぐ立冬。

長い長い暑い夏が過ぎ、秋が駆け足でやってきたかと思うともう冬のたより。

季節の移ろいは、すさんだ心をいやしてむしろに感傷的にさせる。

公園の銀杏並木は、すっかり色づいてあたり一面黄金色の美の世界と化している。遠くでは、洋風の建物が西陽をいっぱい受け、木々の間から見え隠れしている。キャンパスに向かい絵筆をとる老人の肩に、木の葉が舞いおりている。そして落葉を集める老夫の落とす長い影。それはまるで秋の終焉いっさいをつけているかのようだ。

この、野外の大舞台で繰り広げられる動から静への演出は、晩秋の自然が醸し出す風土芸術の象徴である。

11月のおもな行事

- 5～7日 国勢調査調査区設定地方別検討会(青森県)
- 5～8日 工業・石油消費統計説明会(総和町, 土浦市, 神栖町, 水戸市)
- 7～8日 消費動向調査関東ブロック会議(山梨県)
- 8～9日 鉱工業指数関東ブロック会議(山梨県)
毎月勤労統計調査ブロック会議(東京都)
- 13～14日 労働力調査地方別事務打合せ会(旭村)
- 20～21日 事業所名簿整備事後報告会(山梨県)
- 29～30日 昭和59年度地方統計職員業務研修<専門研修>(旭村)